

後期保護者アンケートの分析を行いました

先月1月に実施いたしました後期保護者アンケート（学校評価アンケート）の集計結果をお知らせいたします。今回は前期のアンケート結果と比較しながら成果と課題を分析しました。

前期のアンケート結果同様に、ほとんどの質問において、「思う」、「やや思う」との肯定的な回答が80%を超えています。これは全体的に見た時に明保中学校の教育活動にほぼ満足できている結果であると考えています。その反面で、項目別に見ると、「思う」の回答が低い項目もあり、改善すべき課題もあります。

【評価できる点】

前回肯定的な回答が多かった問4の「**お子様の様子をご覧になって、安心して学校生活を送っていると思いますか**」という項目は、「思う」の評価が48.9%→**61.1%**と大幅に増えました。これは一年間を通じて、生徒たちがさまざまな教育活動を通して、友達との関係も深まり、良くも悪くも学校生活に慣れてきているということが言えると考えます。問7の「**お子様の様子をご覧になって、学校生活を通じて「思いやりの心」が育っていると思いますか**」の項目も91.4%→**92.3%**とわずかながら増えています。この結果も問4と関連して、安心して学校生活を送れるからこそ、友達などとの関係が深まり、相手の立場に立てる余裕が生まれてきているのではないかと考えます。その一方で、中学生の時期というのはいわゆる「思春期」に突入し、自我が確立し始める不安定な時期とも言えます。3年生はまさしく今、進路決定の大切な時期を迎えており、子どもたちの自立を周りの大人で上手に支えてあげることも大切です。明保中では学期に一度「ふれあいアンケート」を実施したり、二者面談を実施したりしています。引き続き、生徒の様子をよく把握し、安心して学校生活を送れるように努めて参りますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

その他、前回に引き続き、問10の「**明保中学校は、学校だよりやホームページなどによって、学校の様子が伝わるように努めていると思いますか**」の項目は肯定的な意見が**95.1%**と高い数値が出ています。今後もホームページだけでなく学年便りや保護者会など、学校生活の様子がわかりやすく伝わるように努めてまいります。

【課題点】

「評価できる点」でもご説明させていただいた通り、安心して学校生活を送れている一方で気を引き締めなければならない点もございます。その様子は、問1の「**お子様の様子をご覧になって、授業に興味や関心をもって前向きに取り組んでいると思いますか**」（肯定的意見88.0%→**84.9%**）や問2「**お子様の様子をご覧になって、授業を通じて、基本的な知識や技能が身に付いたと思いますか**」（肯定的意見84.0%→**82.6%**）、問5「**お子様の様子をご覧になって、学校生活を通じて基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか**」（「思う」48.9%→**41.5%**）の結果に表れています。

新学習指導要領では、育成すべき資質能力の3つの柱として「学びに向かう力・人間性」「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」が掲げられています。この3つの資質・能力を伸ばしていくための授業が「主体的で対話的な深い学び」になります。来年度、明保中は西東京市の研究奨励校の取り組みとして「ICT機器を活用した主体的に学ぶ生徒の育成」というテーマで研究を行う予定です。但し、このような授業を実施する基盤になるのが「基本的な生活習慣」です。生活習慣が定着していない中で、学習を積み重ねていくことは難しいですし、この点においてはご家庭でもご協力をいただきたい点になります。

問9「**お子様の様子をご覧になって、授業、行事、部活動などの教育活動を通して、体力が向上していると思いますか**」では「思う」の回答が52.6%→**46.6%**に減少、「やや不満」の回答が**1.6%**増えています。西東京市では今年度から「部活動に関するガイドライン」が策定され、全体的に部活動の活動時間が制限されて減っている現状です。来年度、生徒の体力向上に向けての取り組みを検討し、体力向上に努めていきたいと考えています。

問3の「**明保中学校は、各教科において目標に基づいて適切な評価・評定の実施に努めていると思いますか**」の項目は、前回否定的な回答が21.9%と多かったのですが、今回は**18.4%**と若干ながら減りました。但し、自由意見欄などには依然としてご意見をいただいている項目です。3年生になると評価が直接高校入試などに影

響するので、評価については、保護者の方にとっては大変関心の高いことではないかと思えます。学校では中学校生活3年間を通して、進路指導、進路学習を行っています。それらはいわゆる「受験指導」だけではなく、職業調べから職場体験、中学卒業後の進路など、卒業後の生徒が自立して自ら進路を選択し、自分の力で進んでいけるように指導しております。例えば、高校進学に関しても、自分自身が選んだ高校で最後まで頑張りきれるかということまでよく考えて進路選択するように、進路説明会や面談でお話しさせていただいています。そのためにも、評価・評定は、定期考査の結果を初めとして提出物の内容や実技テストなど幅広く客観的なデータを集め、検討を重ね、生徒の学力を正しく評価したものでなければなりません。だからこそ、今後も教職員の間でもさらに評価に関する研修を積み重ね、より適切な評価・評定の実施を行ってまいります。また、「明保中の評価は厳しい」との話もあるようです。毎年東京都教育委員会に評価の分布を提出しておりますが、本校の各教科における評価・評定は、他の学校と比較してもほぼ同様であり、適正の範囲内にて行われております。引き続き、保護者の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、お忙しい中アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本アンケート結果を受け止め、明保中学校の教育活動をよりよいものとするため、今後とも改善をすすめてまいります。

平成30年度 保護者アンケート 全体集計

後期

